

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 木津川市立上粕小学校

① 学習指導案

プログラム	No.08 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全17時間)	残そう「上粕百景」
学習のねらい	上粕のよいところを見つけ、友だちや地域の人たちに紹介しよう。
学習内容	1 上粕のまちの好きな場所、残したい風景について話し合う。 2 校内外を探検し、思わず心が動いた場面を撮影する。 3 パネル発表を通して、上粕の「すてき！」を伝える。 4 自他の発表から、上粕のよさを再発見し、それを伝える活動を通して、自分たちの住むまちのいいところを受け継いでいきたいという思いをもつ。
参考資料	名刹・古刹の百景写真
準備品	タブレット、電子黒板、額縁、額縁ホルダー
実施場所等	上粕地域内、教室、パソコン教室

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 (第1次)	・学習のめあてをもつ。	・活動のイメージをもたせる。	・作りたい物のイメージができたか。
4 (第2次)	・地域を巡り、上粕のよいところを探す。	・安全についての指導。 ・地域人材を活用し、校区にある文化財や施設について説明してもらう。	・上粕のまちの「すてき！」を見つけることができたか。 ・自分のおすすめしたい場所を見つけられたか。
5 (第3次)	・「すてき！」の場所を写真に撮る。	・タブレットの操作について。 ・安全についての指導。 ・肖像権についての指導。	・見る人に伝わるように、写真の撮り方や構図等を工夫することができたか。
7 (第4次)	・パネルを作成し、紹介文を考える。 ・パソコンを使って、紹介文を作成する。	・読み手や聞き手を意識し伝わりやすい文の書き方を指導する。 ・ローマ字入力の指導。 ・写真の取り込み方の指導。	・相手に伝わる様な表現ができたか。 ・上粕のまちの「すてき！」に気付くことができたか。

<留意点>

- ・校外で活動する際には、安全に十分注意させる。
- ・児童が決めた場所と地域の中で必ず取り上げさせたい場所が違う場合は、教師から提示するようにする。
- ・肖像権やプライバシーの侵害等について、発達段階にあった指導を行う。

② 事業実施報告書詳細

学校名 木津川市立上粕小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1 (導入)	教室	めあてをつかむ。		やってみたいという意欲をもたせた。
6 (展開)	校外	よいところを見つけるために地域を歩く。 (取材)	地域巡り  	自分の知っているよいところをみんなに話しながら、意欲的に活動した。 新しい発見もあったようだ。
6	教室	1学期からの町探検を振り返り、上粕のよいところ、残したいところを話し合い、選び出して、分担する。 おすすめの場所、紹介したいところを写真に撮る。	写真撮影  	上粕ならではのよさが伝わる場所を選ぶようにしていた。 作ったパネルを見て、楽しんでもらいたいという思いがあり、みんな一生懸命考えながら選んでいた。

2	教室	撮った写真の中から、自分が紹介したい写真を選び、紹介文を考える。		紹介したいことを短い文章で書くことに苦労していたが、子どもらしい感じ方の文章ができた。											
1	教室	作った紹介文をコンピュータ入力するためにローマ字入力の準備をする。		国語科で習ったローマ字で文章を書くことができた。											
2	教室	紹介文をコンピュータ入力する。	紹介文入力 <table border="1"> <tr><td>かんごう</td></tr> <tr><td>昔、町を守るために、町の回りにみぞをつくって、水を流し、てきが入っ</td></tr> <tr><td>てこれないようにしていました。かん</td></tr> <tr><td>ごうのはばは、5.4mあったそうです。</td></tr> <tr><td>名前（ ）</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>つばい大つか山古ふん</td></tr> <tr><td>三角ぶちしんじゅうきょうというかが</td></tr> <tr><td>みが30まいほど見つかりました。ひ</td></tr> <tr><td>みことかわりのあるえらい人のおは</td></tr> <tr><td>かだといわれています。・</td></tr> <tr><td>名前（ ）</td></tr> </table>	かんごう	昔、町を守るために、町の回りにみぞをつくって、水を流し、てきが入っ	てこれないようにしていました。かん	ごうのはばは、5.4mあったそうです。	名前（ ）	つばい大つか山古ふん	三角ぶちしんじゅうきょうというかが	みが30まいほど見つかりました。ひ	みことかわりのあるえらい人のおは	かだといわれています。・	名前（ ）	コンピュータを使って文章を打つことが楽しく、練習を重ねて速く打てるようになった。
かんごう															
昔、町を守るために、町の回りにみぞをつくって、水を流し、てきが入っ															
てこれないようにしていました。かん															
ごうのはばは、5.4mあったそうです。															
名前（ ）															
つばい大つか山古ふん															
三角ぶちしんじゅうきょうというかが															
みが30まいほど見つかりました。ひ															
みことかわりのあるえらい人のおは															
かだといわれています。・															
名前（ ）															
1	教室	写真と紹介文をパネルにセットする。	完成したパネル 	きれいな写真付きパネルに仕上がって子どもたちは大喜びであった。 「上粕にはいいところがいっぱいある。」と地域に誇りをもった子もいた。											

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・意欲をもたせるために、かるた遊びを学習に入る前から行っておいた。
- ・教員から「上粕のいいところを教えて」と話題を提供し、意識化を図っていった。
- ・学習に入るまでの期間に上粕のよいところ残したいところを家で聞いてくるよう伝えておき、大人の思いにも触れる機会をもたせる。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・3年生児童が知っている身近な「町のすてき」が限られた場所であったため、似たような景観を選んだ児童が数名いた。
- ・校外での活動の際に安全確保するための指導者の確保。
- ・ローマ字の習得が難しい児童への支援。(PC入力にあたって)

(3) 児童の反応

- ・できあがったらパネルを見て、みんな満足していた。
- ・「上粕にはすてきなところがたくさんある」と、自分の住む町に誇りをもつ児童が多く見られた。
- ・地域住民や保護者の方々、学校を訪れるお客様からの評判もよく、子どもたちはうれしそうだった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・校区の自然や歴史、文化財など、上粕の豊かな地域教材に目を向けるよい機会となった。
- ・担任が初任者であり、地域のことをあまり知らない状態であったが、取材を通して地域のことを知り、地域の方が地域についてどのような思いをもっているのかについても直接知ることができた。
- ・撮影についてはタブレットし、画角がパネルのイメージに近いので、子どもでもクオリティの高い写真が撮れた。
- ・担任だけでなく、できあがりを見た他の教職員も、地域教材をさらに発掘したいという意欲をもつきっかけとなった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・児童の紹介したい場所が重ならないよう、グループごとに活動エリアを決めておくなどの配慮をすることで、より多くの景観を紹介することができる。
- ・指導者自身が地域を知り、そのよさを十分に知る必要がある。校内研修に地域のフィールドワークを取り入れ、さらに多くの地域教材を発掘したい。